

## Society for the Advancement of Material and Process Engineering

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-24-1 4F (株)ガリレオ内 先端材料技術協会  
Tel:03-5981-9824 Fax:03-5981-9852 E-mail:g001sentan-mng@ml.gakkai.ne.jp

URL:www.sampejapan.gr.jp

### 【熱硬化成形技術(リキッドモールディング) プログラム】

日程：2023年10月19日(木)13:00~17:30

場所：金沢工業大学 革新複合材料研究開発センター(ICC)  
(アクセスは次頁にて)

内容：最新リキッドモールディング技術と樹脂技術について

ドライファイバーと液状樹脂を用いた成形はもっとも基本的な成形方法として広く用いられています。近年は、低コスト成形のメリットを生かしつつ航空機主構造への適用を目指した高品質VaRTMやハイサイクル成形が可能なHP-RTMなど、新たな、リキッドモールディング技術の開発が進められています。

特に、リキッドモールディングによる大型部材や短時間サイクルの成形プロセスは、樹脂の高速流動や急激な圧力/温度の変化をとともう動的なプロセスとなり、樹脂の重合・硬化反応が成形中の材料流動や圧力変化と互いに影響しあう連成した挙動となります。このため、成形プロセスの自動化と樹脂の成形特性とを適合させる Reactive Resin Molding ともいうべき、材料から製造までのさらなる全体最適化が求められます。

本セミナーでは、品質・生産性の向上とコスト低減を実現する最新の樹脂技術について成形プロセスの観点から解説するとともに、具体的な VaRTM や HP-RTM の成形デモンストレーションにより Reactive Resin Molding の実際について触れて頂きます。

時間	内容
12:30~13:00	受付 (金沢工業大学 ICC 2 階)
13:00~13:15	挨拶・全体説明 (金沢工大 ICC 鶴澤 潔)
13:15~14:15	成形プロセスから見た樹脂技術 (金沢工大 ICC 西田 裕文)
14:15~15:15	成形プロセス(金型、プレス技術を含む)解説 (金沢工大 ICC 鶴澤 潔)
15:15-15:30	休憩(15分)
15:30~17:00	成形デモンストレーション ・最新 VaRTM 成形(高 Vf・高品質化技術、革新フローメディア/多層バギング、含浸制御等) ・センター内設備見学・説明(HP-RTM、パーミアビリティ計測装置)
17:00~17:30	まとめ・質疑応答

※時間は目安のため若干前後する可能性があります。

## *Society for the Advancement of Material and Process Engineering*

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-24-1 4F (株)ガリレオ内 先端材料技術協会

Tel:03-5981-9824 Fax:03-5981-9852 E-mail:g001sentan-mng@ml.gakkai.ne.jp

URL:www.sampejapan.gr.jp

### アクセス

学校法人 金沢工業大学

革新複合材料研究開発センター

〒924-0838 石川県白山市八束穂 2-2

TEL. 076-276-3100 (代表)

FAX. 076-276-3101

#### タクシーをご利用の場合

- JR 金沢駅より 30～45 分
- JR 松任駅より 15～20 分
- 小松空港より 30～35 分
- 

#### 高速道路をご利用の場合

美川インターチェンジより、国道 8 号線の水澄町交差点を直進してください

